

## 授業改善等に関する報告書（2024年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

〔2024（前期）国際学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

| コース名               | 教員名    | 教員からのコメント   |
|--------------------|--------|---|
| English Workshop a | 三田 薫   | この授業を通して、「英会話を通じて、単語、文法など様々な英語力の総合的な活用ができた」「ネイティブの人と積極的に話す力が身についた。」「留学への自信につなげることができる授業」と感じてもらえてよかったです。後期は学生同士のディスカッションの機会を増やしていきます。  |
| English Workshop b | 三田 薫   | この授業を通して、「スピーキング力がついた」「以前は英語をスラスラ音読することができなかったけれど、今はスラスラと読むことができるし、発音もよくなったと感じる。」「話す機会を留学前に作れてよかった。」と感じてもらえてよかったです。後期は学生同士のディスカッションの機会を増やしていきます。  |
| 英語学入門 a            | 藤原 正道  | 回答してくれた皆さん、ありがとうございます。<br>高校とは違った大学の授業内容は、いかがだったでしょうか。<br>オンデマンドの特性でしょうか、欠席から失格になる学生が多数見られました。  |
| 国際関係論              | 寺本 めぐ美 | パワーポイントや配布資料をさらに工夫し、学生がより意欲的に学ぶことのできる講義を目指したい。  |
| 国際社会学 a            | 寺本 めぐ美 | パワーポイントや配布資料をさらに工夫し、学生がより意欲的に学ぶことのできる講義を目指したい。  |
| 国際文化論 a            | 小牧 幸代  | <p>国際文化論aは、1年生の前期に開講された必修のオンデマンド授業でした。受講者の約6割が授業アンケートに回答してくれましたので、その結果に基づいてコメントをします。</p> <p>①出席は、毎回のリアクションペーパーを通して確認していました。しかし、リアクションペーパーは、出席確認だけでなく、理解度を確かめる手段でもありました。さらに、顔が見えないオンデマンド講義でありながら、みなさんの生き生きとした顔が思い浮かぶような大切なものでもありました。リアクションペーパーを読むことは、私にとって楽しみであり、励みにもなりました。</p> <p>②予習復習にかかる時間は1時間未満の人が多数を占める中で、2時間以上という人も10人近くいました。自分のペースで勉強できる点がオンデマンド授業のよいところだと感じる一方で、今回は講義動画が中心でしたので、今後はそれ以外の方法も採り入れるなどの工夫をしてみようと思いました。</p> <p>③というのも、理解度に関して、十分に理解できた人とほぼ理解できた人を合わせると8割近くでしたが、残りの人はまあまあと時々理解できなかったと回答しているからです。動画のような受け身で視聴する講義だけでなく、もっと自分から積極的に取り組めるような工夫をしていきたいと思っています。</p> <p>④授業の進むスピードや説明のわかりやすさ、双方向的なコミュニケーション、配付資料、声・言葉の明瞭さに関しても、受講者の全員に授業内容が伝わるよう改善していきたいと思っています。そう強く思うのは、授業を通して自身の成長が実感できたという人、この科目をさらに学びたいと思った人が、それぞれ9割だったこと、さらに、総合的に判断して満足した人がほぼ全員だったこと、そして、授業に意欲的に取り組んだかどうかの質問でも、ほとんどの人が意欲的に取り組んだという回答だったこと、これらの回答には、本当に勇気づけられました。この授業での経験を活かして、私も成長していきたいと思っています。</p> <p>⑤自由記述欄にも、たくさんのコメントがあり、とても参考になりました。オンデマンド授業は、まだ不慣れだったために様々な困難もありましたが、これからもっと習熟し工夫を凝らすことで、よりよい学びにつながるようにしていきたいと思っています。</p> |
| 地域経営学入門 a          | 東 徹    | 前期の「地域経営学入門 a」は、大学の方針により、不本意ながらも「オンデマンド」方式で授業を行うこととなりました。また、事情（情報容量等）により、音声付きパワーポイントでの配信になったのも不本意なことです。私としては、毎回「対面」で授業を行い、受講者の皆さんの反応や発言等から、授業内容に関する関心や理解度をある程度確認しながら授業を進めたいと考えていましたし、せめてオンラインであっても同時配信で行いたいと考えていたにもかかわらず、それもかなわず非常に残念に思っています。後期の「地域経営学 b」は毎週対面で授業を行うことができるので、楽しみにしています。   |
| 日本語学入門 a           | 大塚 みさ  | アンケートへのご回答、ありがとうございました。<br>予習復習時間や意欲的な取り組みに関する数値が高く、みなさんの学習姿勢に感心しました。オンデマンド授業なので「板書やパワーポイント、配布資料の分かりやすさ」「双方向授業（質問のしやすさ等を含む）等の工夫」で高い評価を得ることができ、安心しました。成長実感満足度の高さは、みなさんの努力の賜物だと思います。<br>自由記述では、日本語について広く深く学べたことで知識や関心が深まったと言う声が多く、うれしく思いました。後期の「日本語学入門b」でも、授業内容や教材、課題に改善を加えていきたいと思っています。  |

**【2024（前期）国際学科】授業アンケート結果へのフィードバック**

| コース名    | 教員名              | 教員からのコメント   |
|---------|------------------|---|
| 日本文化論 a | コルネーエヴァ, スヴェトラーナ | <p>この講義は1年生の必須科目で、オンデマンドで実施されました。アンケートに答えていただき、有り難く思います。アンケートの回答率は54.9%で、履修者の半数以上が回答したこととなりました。</p> <p>音声、動画、資料を使って、受講生に取り組みやすい講義を心がけました。Q5～16については、Q13以外は4点以上の結果となり、全体として高い満足度を得ることができました。自由記述の中に「日本文化について理解が深まった」、「自国に興味を持つようになった」、「写真や資料を見せながら授業を行ってもらった点が良かった」、「特に侘び・寂びなどの日本特有の文化について学べたことがすごく嬉しかった」などというポジティブなコメントが多かった一方で、「たまに理解できないことがあった」というコメントが1つありました。</p> <p>アンケートを受けて今後は、よりわかりやすい説明を工夫し、受講生の自主的な学びと自己評価の向上につながる授業づくりをしていきたいと思いません。</p> |